

令和7年3月定例会議 一般質問

10 番議員 山下 純夫

再浮上と2万人の目標に向けた、人口増加策を問う

町制施行以来増加し続けてきた本町の人口は、残念ながら昨年ついに、通年で減少のまま終わる事態を迎えた。

しかし、昨年12月の一般質問で、この状況をどう捉えるかとの問いに対して『楽観視している』、あるいは『駅前通り線の事業認可が受けられる環境にある自治体は県下でも極々一部であり、そこにワクワクを感じてほしい』という旨の答弁があった。

データは別としてもたいへん期待の持てる答弁と感じた。

また、先に議案として公開された次期総合計画では、2032年に想定する人口は現状に1,400人強の増加を見込む2万人、という町のやる気を感じさせる目標が示された。

そこで、2万人達成に向けた、人口増加策について以下の点を問う。

1. 楽観視している根拠と、この先の増加策は。
2. 多世代同居に向けた補助金を創設する考えは。
3. あじさいまつり等のイベントの来訪者を定住化させるための取り組みは。
4. 石破総理が施政方針演説で『防災庁など政府関係機関の地方移転、国内最適立地を推進』と述べた。開成町こそ防災庁の最適立地であると考えているが、防災庁誘致を積極的に進める考えは。